

胡蝶蘭・ミディ胡蝶蘭のお手入れ方法

『お手入れカレンダー』 お花を元気に育てていただくための参考として、見やすい場所に貼ってください。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育	開花期			成長期						花芽分化期		開花期
置き場所	直射日光を避けた自然光の入る、明るい室内(15℃～25℃)											
日当たり	レースのカーテン越しの光											
水やり	【水苔】表面が良く乾いたら(2週間に1回) 【バーク(木のチップ)】10日に1回程度				【水苔】表面が乾いたらたっぷり(10日に1回) 【バーク】1週間に1回						【水苔】表面が良く乾いたら(2週間に1回) 【バーク】10日に1回	
施肥					月に1回1,000～1,500倍に薄めた液肥							
作業					植え替えと株分け							

※この表は、関東地方の平均的な気温を基準としているので、地域によって表とは時期が異なる場合があります。
最低15℃以上保つよう管理します。

置き場所 日当たり	直射日光を避けた、自然光の入る明るい室内が理想的です。冬は、最低気温が12℃以下になると株が弱り始めます。また、暖房のすぐ近くは花持ちが悪くなるので注意します。夏は、室温が高くなりすぎると花持ちが悪くなります。換気をしたり、冷房の効いた部屋で管理すれば花持ちは良くなります。 最低15℃以上を保つようにします。
水やり	【水苔の場合】冬は水苔の表面がよく乾いてから水を与えます(2週間に1回程度)。乾燥気味に管理したほうが、耐寒力がつき、株が弱ることなく冬を越せます。暖房を入れる部屋では、1日数回、株に霧を吹くと、株の衰弱を防ぐことができます。春になり、暖かくなってきたら、水やりの間隔を短くします。新しい根や葉が出てくる5月から10月にかけては、水苔の表面が乾いたら、たっぷり水を与えます(10日に1回程度) 【バーク(木のチップ)の場合】水苔に比べて乾燥しやすいので冬は10日に1回程度、夏は1週間に1回位水を与えます。また、ビニールポットごと寄せ植えされていますので、1株ごとに株元に水を与えてください。
施肥	開花中は肥料を与える必要はありません。花が終わった後、新しい芽や葉が出てくる5月～10月に、月に1回程度、1,000倍から1,500倍に薄めた洋ラン用の液体肥料を水やり代わりに与えます。
花が 終わった ら	下から数えて3つ目の節の2cmくらい上で茎を切ると、そこから新しい花茎を伸ばし2番花を咲かせることができます。2番花を咲かせない場合は、花茎の一番下で切ります。
植え替え 株分け	根腐れがよほどひどい場合を除いて、植え替えはしなくても良いでしょう。植え替えをする場合は、古い水苔を全て取り除いた後、新しい水苔を鶏卵大に丸めて根に巻き、さらに周囲を水苔で薄く巻いて、ひとまわり大き目の素焼き鉢に入れます。上部がやや固く、中間は柔らかめ、下部が空洞になるような植え付けが理想的です。2番花を咲かせた株は体力が消耗しているので、寄せ植えの鉢は一株ずつ分けて栽培します。